

第43回 大津市景観審議会 議事要旨大津景観審議会

日 時	令和5年11月20日(月) 10:00~11:30
場 所	大津市役所 新館2階 災害対策本部室
出席者	藤本委員(京都市立芸術大学美術学部大学院美術研究科教授) 中嶋委員(京都大学大学院人間・環境学研究科教授) 田口委員(成安造形大学未来社会デザイン共創機構助教) 三上委員(滋賀県広告美術協同組合) 千葉委員(公益社団法人滋賀県建築士会) 浜崎委員(公益社団法人滋賀県不動産鑑定士協会) 黒澤委員(滋賀県土木交通部技監) 初田委員(公募委員) 山田委員(公募委員)

事務局	(開会あいさつ)
大津市 都市計画部長	(あいさつ)
事務局	(審議が成立していることを報告)
会長	おはようございます。だいぶ寒くなって参りました。これまで専門部会の方で、景観計画につきまして色々な議論を積み重ねて参りました。今日は審議会の場で、皆さんに最終的なご意見をいただくこととなります。 景観とは何か。自らの足元をどう整えたら良いのか。美しくて綺麗で心地よい環境で、子供が育ち、親も子育てをしていくことで、健やかな気持ちで宿ってくると思います。景観という面で一步でも寄与できたらと思います。そこを目指して、今日の計画を皆さんと進めていきたいと思ひます。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。
事務局	(資料確認)
会長	それでは、次第に従って議事を進めていきたいと思ひます。 次第の4審議事項でございますが、「第2次大津市景観計画原案の策定について」に関して、事務局より説明をお願いします。
事務局	《事務局説明》(「4(1)第2次大津市景観計画の策定について」)
会長	ありがとうございました。それでは、今回仕上がってまいりました計画につきまして、皆様からのご質問、ご意見をお受けしたいと思ひます。
委員	公募委員です。ご説明いただいた資料2の30ページの「びわこ東海道景観基本計画」のところで、これが資料1の景観計画のどこに紐づいているのかお教えいただきたいと思ひます。
会長	5章になるのでしょうか。
事務局	ページ数がわからないということでしょうか。
委員	目次にはないようですが。
会長	5章の眺望景観のところでは触れていますが、どうでしょうか。
事務局	パワーポイントの説明資料の図は、「びわこ東海道景観基本計画」に記載している図を記載しています。この図そのものを景観計画に載せているのではなく、内容を反映させていただいております。具体的には、5章の1、2ページのところに大きな方針を記載させていただいております。5章の2ページには図を入れさせていただいております。例えば、「魅力ある対岸景観の形成」という内容は、第4章の第1(2)の方に、対岸眺望景

	観の内容を記載しております。主旨を反映させた形で、馴染ませる形で記載しています。
委員	ご説明で理解できました。5章の2ページの下が空いていますので、このあたりに「びわこ東海道景観基本計画」のイラストや図などを追記していただければ、分かりやすいと思います。
会長	ありがとうございます。よろしくお願いいたします。他いかがでしょうか。
委員	<p>市民目線での感想となりますが、全体的に図や写真、イラストを入れていただいております、非常に分かりやすいと思います。</p> <p>学区の自治連合会の役員をしておりまして、その中で注目したのは、第6章です。三者協働という言葉は、まちづくりでよく使う言葉ですが、なかなか上手く進んでいません。6章の「景観づくりの主体と役割」というところで、景観づくりの主体は、市民、事業者、行政と記載しています。地域担い手として、祭りであったり、運動会であったり、清掃、見守りなど役員は一生懸命やっています。が、なかなか面倒くさいのか役員になりたい人も少なく、自治会の加入率も50%を切っている状況です。人間関係を煩わしいと感じる人も多いようで、人間関係が希薄になってきている気がしています。景観づくりの三者協働ができるのかどうか、よく見てみました。よくここまでまとめていただけたなと思います。</p> <p>具体的には、「景観づくりのプロセス」のところでは、一人一人の景観に対する意識から、地域コミュニティにつなげていく。好循環を作ってやっていく。「景観づくりのアクション」のところでは、「一人でできるアクション」、「仲間でできるアクション」、「地域コミュニティでできるアクション」など具体的な例示やイラストがあって、大変分かりやすくイメージがしやすくなっています。「地域主体となって定める景観に関するルール」も分かりやすくなっています。</p> <p>結論的には、一人一人の意識向上を持って、地域を巻き込んでやっていく、醸成していくものなのかと改めて感じました。本当に分かりやすい資料を作っていただいたなと思います。</p>
会長	ご感想ありがとうございました。
委員	<p>私も感想のようになりますが、行政の端くれの人間でしたので、この計画は非常に良く整理されたなと、満足しながら見ておりました。</p> <p>絵画コンクールの審査員をさせていただいております。子供の描いてくる絵を見たときに、花火とか、祭り、京阪電車など遊びや行事がたくさん出てきます。こういう行事は、景観の中にあつてこそ生きてくると思っております。景観だけ、遊び・行事だけで成立するものではありません。景観の中に遊びや行事があつてこそだと思っております。そういうことを市民の皆さんに説明するときにアピールしてほしいと思います。</p>
会長	ありがとうございました。皆さんが自ら地域で声を上げていただくことが大切だと思います。他いかがでしょうか。
委員	感想みたいなものですが、先ほど委員が指摘されたところで、草津市と連携してやっていくと書いてあります。草津市の方から大津を見たときどうか。それを踏まえて大津市で規制をかけていくというのは、非常にいいことだと思います。逆に草津市が大津市のどこかに景観重要ポイントを設定しているのだというのがあれば、参考に紹介していただいてもいいのではないのでしょうか。
会長	今日「びわこ東海道景観基本計画」の資料をつけていただいております

	が、事務局いかがでしょうか。
事務局	先ほどの委員のご提案を受けまして、「びわこ東海道景観基本計画」の図を載せられるように検討させていただきます。ただ、具体的な草津の景観の規制については、草津の計画の改訂が後になりますので、そこまでは書くべきではないかと思います。まずは「びわこ東海道景観基本計画」の図を載せることで、ご意見の主旨がわかるように対応したいと思います。
会長	ありがとうございました。5章の2のあたりだと思います。他いかがでしょうか。
副会長	非常に充実した内容になって素晴らしいことだと思います。ただ、当初予定していたより厚くなってしまって、最初から最後まで読んでいただくという点では少し不安があるように思います。策定後、どのような形で、市民に伝えていくのか。インターネットなどでどのように情報発信をしていくのか。その検討をお聞きできればと思います。
事務局	分かりやすく示すために、概要版の作成を検討しております。薄いものを読んでも、主旨や重要な点がわかるようにしたいと考えております。また、ガイドラインの作成を合わせて考えております。現状でもガイドラインはありますが、今回の計画の改訂に合わせてガイドラインを改訂いたします。HPの方でも、掲載の仕方は未検討ですが、ワンストップで見られるように考えております。合わせまして、GISの方でも公開して示していきたいと考えております。
副会長	<p>分かりました。概要版とガイドラインで主旨等を伝えていくということですね。市民、事業者は自分が住んでいるところ、自分が事業をすることに興味があります。色んな人が使えるか分かりませんが、GISなどクリックすれば全ての規制が出てくる。それに関連するページが出てくるなど工夫をしていただければと思いました。</p> <p>先ほどから6章の三者協働の話が出てきていますが、6章の2ページに「景観づくりの推進体制」の図がありますが、矢印が何を示しているのかが分かりません。連携するのは分かりますが、どうやって連携するのか。具体性がありません。例えば、市民と行政が連携するとはどういうことか。矢印にもう少し意味が出てくると良いと思います。</p> <p>それに関係して、色々なまちづくりのアイデアが6章に挙げられています。例えば6章の10ページ以降に「地域が主体となって定める景観に関するルール」がありますが、こういうのを含めて、市民の方がどこに相談したらいいのかが分からない状態です。市役所に行けば相談できることはわかるが、市役所のどこにいけば、景観について相談できるのか。計画に載せるかどうかは分かりませんが、どこかにあると分かりやすいと思います。</p> <p>あと細かいことですが、和暦で作ると見にくいように思います。昭和ぐらいまでは和暦で追えたのですが、令和になると和暦で記載されると辛いものがあります。行政の文章は和暦なのですが、西暦も併記していただければ助かります。</p> <p>本編に目次、資料編がつくとさらに厚くなります。何かスリム化するところがあっていいのではないのでしょうか。精査していただき、資料編だと分かるような形で分かれて見えるなどの工夫があってもいいのかと思います。</p> <p>非常に充実して、これだけイラストや写真が多い景観計画ですので、大津市独自のものとして、他の市町もこれに続いてくるのではないかと思います。どう運用するかも大事ですので、次はこの景観計画が市民に使いや</p>

	<p>すいものに変えていただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ネットで見ていても、なかなか次に行かないくらいのボリュームがあります。GIS の活用でアクセスしやすくなると思います。</p> <p>あとはPRというところで、小学校と連携したり学校教育でできたらいいと思います。先日熊本で、全小学生でドローンを活用しているというところがありました。小学生の人数が少ないところですが、全小学生にドローンを操作させ、飛ばされていました。子どもが参加していると、親も関心を持って参加されます。小さい子どもたちにインプットすることで親もついてきます。教育部隊と上手く連携していただいて、タイミングよくPRできればと思います。先生方が学んでいただくだけでかなり違うと思いました。景観は本当に色々な分野と関わりがありますので、それぞれ教育の中で、自分がされている分野で取り入れていただけるのではないかと思います。</p> <p>あと、スリム化は工夫できそうに思います。特に 2 章などは、上手く別表にすることもできるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>数年前に初めて、大津市の景観計画を勉強したとき大変だったこと思い出すと、大変読みやすくなって敷居が下がったように思います。</p> <p>市民の活用という点で、用語集は資料編でつけていただけるとのことですが、現在の景観計画にあるような形で追加されることになると思います。本文中にアスタリスクを付け、用語集に紐づけるという記載があったのですが、全部つけるのは大変だと思います。基本的なところについては、用語集に紐づくようにしていただければと思います。ただ、「本文中に用語集に紐づく場合」と「注釈になる場合」のマークが混在しているようですので、できれば注釈は別のマークにしていいただければと思います。</p> <p>もうひとつ。地図から参照することに関してですが、第 1 章 10 ページのマップが非常にわかりやすいと思います。このマップから参照できると良いと思います。現在大津市では「マイタウンおおつ」を使っています。これを改定されるのか、新たに仕組みを作るのか分かりませんが、なるべく早期にこの計画を反映していただくよう希望します。「マイタウンおおつ」を上手に利用して、家を建てたり引っ越しなどの場合、都市計画、生活安全などの地図が市民として非常にやりやすくなるのではないかと思います。何か今ある仕組みを活用して実現していただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。用語集のアスタリスクの付け方、地図の件いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>アスタリスクの付け方は、ご提案いただいた方向で検討させていただきます。</p> <p>また、地図の件ですがこれは、まだHP上でどのように掲載するのか検討段階でございます。今後検討してく段階になりましたら、今いただいたご意見を念頭に進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。地図はおっしゃられるように、他のものと連携しているとそこを見たときに一緒に見ることが出来ますので、その様になったらいいと思います。</p>
委員	<p>説明資料の 4 ページ目の計画策定のポイントですが、6 章が入ったところが非常に大きな特徴なのではないかと思います。当初の狙いとは違うかもしれませんが、ここの計画策定のポイントに 6 章が入ってもいいのではないかと思います。</p>

	<p>また、計画の序章の11、12ページの見開きのイラストが非常に良いと思います。このイラスト一枚で多くの市民が語れるんじゃないかと思います。写真よりも地域の思い出をイラストで示している方が、年配の方々が若い人に語りやすかったり、記憶に眠っている昔の景観を思い出したりすることができたりするのではないのでしょうか。愛着も湧きやすいと思います。今後の計画の広報に使うときには、こういうものを使っていいのではないのでしょうか。</p> <p>6章の部分で、絵画コンクールなどすでに取り組みされている具体的な事例も書かれてもいいのではないのでしょうか。6章は、一般の人が見ます。具体的なアクションに紐づけていただければと思います。</p>
会長	取り組んでいる活動は31ページくらいに書かれています。
委員	アクションの例に入っているもいいのではないかと思います。
会長	<p>そうですね。今やられている活動もPRとして入れられてもいいかもしれません。イラストは見る人によって、色々な意見が出てくると思います。活用の仕方によっては、上手く使えるのかなと思いました。</p> <p>説明のスライドは今回の資料で終わるんですよね。スライドが他に出ていくわけではないですが、記録として6章が加わったことを入れていただければと思います。</p>
事務局	修正をかけるときに、委員のご提案を念頭に修正していきたいと思えます。
委員	概要版を作るときには、行政目線と一般市民の目線の違いを工夫していただければと思います。
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私がひっかかったのは、1章の1、2のところ、活用方法というのがありますが、もう少し分かりやすくないのでしょうか。頭に何も文章がないので、これが何なのか伝わりにくいように思います。左と右の関係など、何か入れていただいたら分かりやすいかと思いました。</p> <p>他よろしいのでしょうか。それでは次の議題に進みたいと思います。報告事項の説明をお願いいたします。</p>
事務局	《事務局説明》(「4(2)ワークショップの実施について」)
会長	<p>ご質問はありますでしょうか。よろしいのでしょうか。西暦の併記をできることはしていただければと思います。</p> <p>それでは、最後に議事3の「その他今後のスケジュールについて」の説明をお願いいたします。</p>
事務局	《事務局説明》(「その他今後のスケジュールについて」)
会長	ありがとうございます。ご質問はありますでしょうか。
委員	資料2の41ページ スケジュールについて 「令和7年度の周知期間」のところ、歴史的風致維持向上計画の時のように、関連部署と一緒に予算を取って講演会をしてはいかがでしょうか。
事務局	講演会までは今のところ検討はしていませんでしたが、改めて検討させていただきます。
会長	<p>講演会はオンラインでもできるようになっておりますが、2年先なのでまだ分からないようです。</p> <p>西暦の件、内部資料ぐらいいはカッコ書きで西暦を入れていただければと思います。</p>

	<p>よろしいでしょうか。順調に進むことを願いたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。これまで皆様のご感想、ご意見いただきましたことを感謝いたします。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p>
	《閉会》